



校長通信

No.23 令和3年3月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《無事、卒業証書授与式を挙りました》

3月10日、好天に恵まれ、やわらかい春の日差しの下、令和2年度、第74回河北中学校卒業証書授与式を挙りました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓のご臨席をお願いせず、在校生の出席は、生徒会長のみ、吹奏楽部の華やかな演奏もないという、簡素な卒業式となりました。しかしながら、卒業生代表の答辞、在校生代表の送辞とも、すばらしく、卒業生の歌「糸」も、美しいハーモニーが響きわたり、場内感動の渦となりました。



卒業生代表の答辞で、「臨時休業が解除され、一斉登校再開後、皆で学ぶことができなかった期間を取り戻そうと必死に頑張る中で、次第に不安が小さくなっていった。この経験から何事に対しても、過剰に反応せず冷静に対処し、日々考え、行動することの大切さに気づいた。」と述べてくれました。学校生活が制限されるという逆境の中から、プラス思考で、物事を考え、大切なことに気づくことができた素直な、前向きな姿勢に、感動しました。卒業生のこれからのますますの活躍を期待しています。

《東日本大震災から10年》

平成23年3月11日、未曾有の大災害、東日本大震災が発生し、昨日で、ちょうど10年が経ちました。亡くなった方々への哀悼の意を表し、また、防災への意識を高めるという目的で、6限目の授業中でしたが、午後2時46分、1・2年生、教職員で1分間の黙とうを捧げました。

地震は、いつ起こるか予想がつかないので、避難場所を確認したり、家具などには転倒防止の器具を装着したり、日頃から防災のために備えておくことが大切です。各ご家庭でも、防災について話し合っていたいただきたいと思います。